

ご近所のお医者さん

□
761
□

さの小児科クリニック 佐野博彦さん 一豊中市

医療現場と音楽

私たちが普段何気なく耳にする「音楽」は医療やケアの現場において、いまや単なるBGMという枠を超えた大きな影響を及ぼしています。皆さんは「音楽療法」という言葉を聞いたことはありますか。音楽療法の最も大きな効果は、患者の心と体の緊張を和らげること

心動かす確かな力

ゆずの「栄光の架橋」、岡村孝子の「夢をあきらめないで」といった曲が大好きです。特に、夢をあきらめないでの2番の「あなたが選ぶ全てのものを、遠くにいて信じている」という歌詞には大変元氣付けられました。読者の皆さんにとってもしんどい時、苦しい時に元氣付けてくれる一曲があるはずですよ。

にあると思います。病院での待ち時間、手術を控えた不安な時間や痛みを伴う処置の最中、お気に入りの音楽を聴くことで心拍数や血圧などが安定することが科学的にも示されています。

という本を見つけ、読みやすさにひかれて買いました。

その後、用事のついでに京都の銀閣寺近くにある、山本さんが営む古書店「古書善行堂」に伺いました。おすめのジャズのCDを尋ねると、「St

udy in Brown」を勧めてくださいました。爽やかというか、何回聞いても飽きがこず、クインテットですが、特に、ブラ

ウン氏のトランペット、ローチ氏のドラム、パウエル氏のピアノとどれをとっても超一流だと思いました。まさに魂の名盤というか、伝説の名盤です。

音楽の記憶は、大切な思い出とも深く結ばれています。昨年亡くなった母が好きだったシャンソンも、エディット・ピアフの「愛の賛歌」「バラ色の人生」など、良い曲がたくさんあります。私は、ZARDの「負けないで」や

(府医師会広報委員会委員)

